

環境経営レポート 2024年度 実績

活動期間：2024年2月1日～2025年1月31日



2025年6月12日発行

三英電業株式会社



目次

1. 経営理念	1
2. 組織の概要	2
// (対象事業所一覧)	3
3. 環境マネジメントシステム組織図	4
// (役割、責任、権限)	5
4. 環境経営方針	6
5. 2024年度 環境経営目標・計画 (P)	7
6. 2024年度 環境経営目標・実施 (D)	8
7. 2024年度 環境活動具体的実績 (D)	9
(1) 環境関連法令順守状況及び評価結果	//
(2) 二酸化炭素 (CO ₂) 総排出量と売上金額 年度別比較	10
(3) 二酸化炭素 (CO ₂) 排出量と使用量及び使用金額	
2023年度比較	//
(4) 二酸化炭素 (CO ₂) 排出量内訳 年度削減実績	11
(5) リサイクル (廃棄物、紙)、節水 (水使用量) 年度削減実績	//
8. 環境活動の取り組み結果・評価 (C)	12
9. 環境・安全への取り組み事例	13
10. 環境経営方針 2025年改定版	14
11. 2025年度 全社における展開と目標 (A)	15
12. 代表者による活動全体の評価と改善 (C・A)	16
13. CO ₂ 削減状況 代表例 3事業所	
(1) 東京支店 南部支社	17
(2) 南関東支店 横浜支社	18
(3) 北関東支店 埼玉支社	19
(4) 本社・事業所の環境活動への取り組み	
① 各所活動報告・新入社員への環境教育	20

② 地域清掃の実施 20

③ 社員の環境意識向上 //

(5) その他

① 安全への取り組み：基本動作反復訓練 21

② 社会と共存共栄する企業運営：CSR活動報告 //

(6) SDGs活動の取り組み 22

※ P(プラン)：計画、D(ドゥ)：実施、C(チェック)：評価、A(アクション)：改善

1. 経営理念

三英電業株式会社は創業からの経営理念である

社是 「 安全・技術・調和 」

を礎に、総合電気工事・通信工事を中心に環境保全活動を推進しております。

環境への取り組みについて社内外へ明確にするため、2004年8月より環境マネジメントシステムを構築し、全社大で環境活動に取り組み、更に2005年7月より『エコアクション21』の認証を取得し、20年以上にわたり環境活動を展開してまいりました。

また2024年度「業務運営指針」では、「環境保全」を掲げ、環境に対応した企業運営の継続的な改善を推進してまいりました。

2. 組織の概要

商 号 三英電業株式会社
所在地 〒141-8611
東京都品川区大崎1丁目19番20号
TEL 03-3495-8111（代表）
FAX 03-3495-8696
URL <http://www.sanei-dengyo.com>
代表者 代表取締役社長 大場 雄介
資本金 9,600万円
創 業 1944年1月
会社設立 1960年2月2日
売上高 269億円（2024年度）
従業員数 345名（2025年1月31日 現在）
延べ床面積 19,585㎡
事業活動 地中配電線、発電・変電、土木、内線、通信線、止水・ライニング工事、
電線管加工、電設資材配送



建設業許可 国土交通大臣許可

- ・特 定 建 設 業 国土交通大臣 許可（特-2）第4387号
許可の有効期限 令和2年6月27日～令和7年6月26日まで
許可を受けた建設業 電気工事業、土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、
水道施設工事業
- ・一 般 建 設 業 国土交通大臣 許可（般-2）第4387号
許可の有効期限 令和2年6月27日～令和7年6月26日まで
許可を受けた建設業 電気通信工事業

エコアクション21 認証・登録番号 0000435

環境管理責任者 石井 幸雄

環境マネジメントシステム事務局 野口 政春

小出 梨央奈

対象事業所 別紙 事業所一覧に記載

組織の概要（対象事業所一覧）

●本社 〒141-8611 東京都品川区大崎 1-19-20
TEL.03-3495-8111（代表） FAX.03-3495-8133

- ・管理本部：総務部、経理部、品質安全部
- ・電力事業本部：電力部
- ・電気事業本部：内線部、通信部、営業部
- ・ISO 推進室

●小山研修所 〒329-0203 栃木県小山市西黒田 77
TEL.0285-45-2250 FAX.0285-45-2459

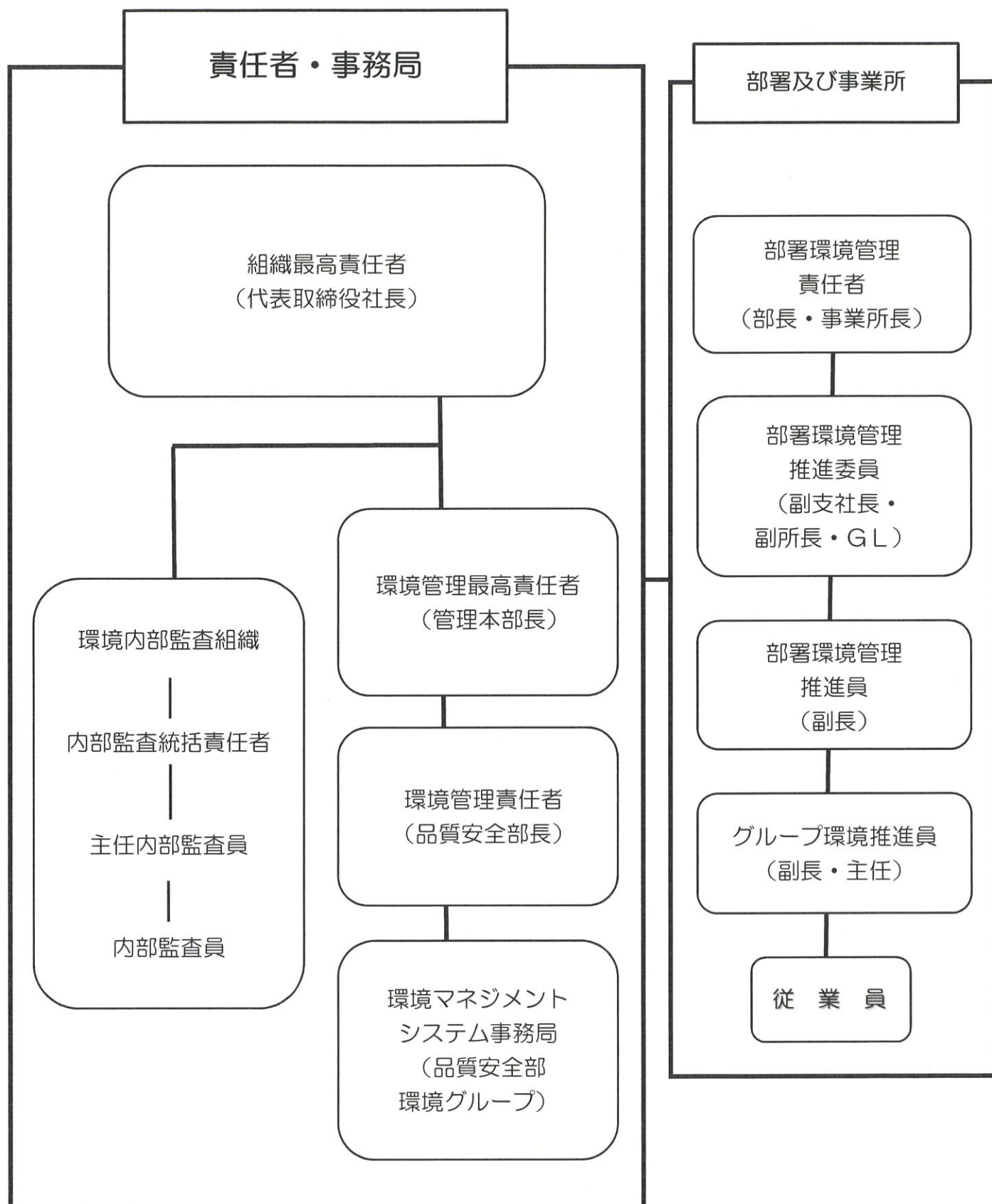
●芦川研修所 〒250-0521 神奈川県足柄下郡箱根町箱根 150
TEL.0460-83-7234 FAX.0460-83-7234

管理本部

●資材センター 〒340-0813
埼玉県八潮市木曽根 731-1
TEL.048-995-3551
FAX.048-996-8819

- 東京支店 〒141-8611 東京都品川区大崎 1-19-20
TEL. 03-3492-5969 FAX.03-3492-5997
- ・南部支社 〒140-0003 東京都品川区八潮 1-1-1
TEL. 03-3790-8125 FAX.03-3790-8126
- ・西部支社 〒120-0047 東京都足立区宮城 1-33-17
TEL. 03-3912-8111 FAX.03-3912-8115
- ・東部支社 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 4-1-11
TEL. 03-3686-9148 FAX.03-3686-6896
- 南関東支店 〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-98-1
TEL.045-501-8111 FAX.045-503-2121
- ・横浜支社 〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-98-1
TEL.045-501-8111 FAX.045-503-2121
- ・大和営業所 〒242-0018 神奈川県大和市深見西 1-1-8
TEL.046-262-8451 FAX.046-262-8460
- ・御殿場営業所 〒412-0042 静岡県御殿場市萩原 1433-8
TEL.0550-83-7161 FAX.0550-83-7211
- ・多摩支社 〒186-0011 東京都国立市谷保 5850-1
TEL.042-577-1415 FAX.042-576-0875
- ・山梨営業所 〒400-0043 山梨県甲府市国母 6-2-14
TEL.055-228-6981 FAX.055-228-6389
- 北関東支店 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木北 1-5-1
TEL.048-422-1155 FAX.048-421-4578
- ・埼玉支社 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木北 1-5-1
TEL.048-422-1155 FAX.048-421-4578
- ・栃木営業所 〒329-0205 栃木県小山市間々田 791-17
TEL.0285-45-8395 FAX.0285-45-5997
- ・群馬営業所 〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町 3358
TEL.0270-23-5531 FAX.0270-26-6292
- ・千葉支社 〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町 418-1
TEL.043-423-7047 FAX.043-422-0861
- ・茨城営業所 〒319-0111 茨城県小美玉市中野谷 501-181
TEL.0299-49-1234 FAX.0299-49-1937

3. 環境マネジメントシステム組織図



環境マネジメントシステム組織図（役割、責任、権限）

役割	責任、権限
組織最高責任者及び環境管理最高責任者	・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・実施体制の構築（組織図及び役割、責任、権限） ・環境マネジメントシステムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間を用意 ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境管理責任者を指名（組織最高責任者） ・全体の評価と改定又は見直しを実施
環境管理責任者	・環境マネジメントシステムを構築、運用する ・環境目標、環境活動実施計画書及び実績表の作成 ・環境経営レポートの発行 ・教育、訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備、対応 ・環境活動の取組結果を環境管理最高責任者へ報告
環境マネジメントシステム事務局	・エコアクション21システムの推進（環境管理責任者の指示を受けて） ・環境への負荷及び取組チェックの実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と順守評価実施 ・環境経営レポート作成 ・環境関連文書、記録の管理 ・外部環境情報の窓口
各部及び事業所担当 部署環境管理責任者 部署環境管理推進委員 部署環境管理推進員 グループ環境推進員	・環境目標及び環境活動計画の実施、確認、評価、達成状況の報告 ・同上 ・実施上の問題点の是正、予防処置実施 ・環境活動におけるチェックリストの記録、運用管理 ・同上
従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚 ・エコアクション21で決められた各自の役割を実施

環境内部監査組織

内部監査統括責任者	・内部監査の統括 ・監査結果の環境管理責任者への報告
主任内部監査員	・内部監査統括責任者の補佐 ・年度内部監査実施計画に基づく監査の実施 ・内部監査の実施に関し発生した指摘事項の是正状況確認、及び内部監査統括責任者への報告
内部監査員	・主任内部監査員の補佐 ・年度内部監査実施計画に基づく監査の実施 ・内部監査の実施に関し発生した指摘事項の是正状況確認及び主任内部監査員への報告

4. 環境経営方針

三英電業株式会社は、「安全・技術・調和」を社是に掲げ、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した事業活動を通じ、継続した環境負荷低減に努めます。

法令を順守し、電気・通信というインフラを築く企業として、以下の環境活動方針を掲げ、全社を挙げて取り組みます。

環境活動方針

1. 環境に配慮した業務運営を図り、環境関連法規制や関係条例を順守します。
2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 資源の有効活用を図り、廃棄物の削減と再生利用に努めます。
4. 節水活動に取り組み水使用量の削減に努めます。
5. 業務効率の向上を図り、資機材の有効活用と再生利用に努めます。
6. 関係会社等と協働し、現場での環境を配慮した、持続可能な環境保全活動を推進します。
7. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開に努めます。
8. 工事力を考慮した計画的な受注活動により、効率的な事業運営を心掛けます。

2004年8月1日 制定

2024年2月1日 改定

三英電業株式会社

代表取締役社長

大場 雄介

5. 2024年度＜環境経営目標・計画（P）＞

1. 環境関連法規制の順守

- ・該当法令に関する定期的な確認及びチェックリストの作成。

2. 事業活動で発生する二酸化炭素排出量の削減

- ① 環境マネジメントシステムの継続的な改善及び業務を見越した環境マネジメントプログラム目標値を設定：前年度比1%以上のCO₂排出量削減。
- ② N・H・K（なくす・へらす・かえる（変える・換える・替える））による業務効率向上。
- ③ 電子媒体を活用し情報共有化を推進。

3. 資機材の有効活用

- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）にリフューズ・リペアを加えた5Rを推進。

4. 節水活動に取り組み、水使用量の削減：前年度使用量実績 10,558m³。

5. 資機材の有効活用と再生利用：前年度排出実績 185,796kg（廃棄物）

6. 関係会社等と協働し、現場での環境保全活動を推進：現場発生の濁水などの適性処理。

7. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開

- ① 当社マニュアルを業務実態に合わせ、エコアクション21ガイドライン要求事項を満たした内容に改定。
- ② 内部監査の実施。
- ③ エコアクション21認証・登録の中間審査受審。
- ④ 「環境経営レポート」2023年度版の発行。

8. 工事力を考慮した計画的な受注活動の実施及び効率的な業務運営。

6. 2024年度＜環境経営目標・実施（D）＞

1. 環境関連法規制の順守

- ・環境法規制等順守チェックリストを2月更新。（各所独自の条例等を記載）

2. 2024年度 環境マネジメントシステム実績の報告。

- ・各所マネジメントプログラムにおける四半期ごとの分析評価の実施。
- ・各所における好事例の周知を実施。

3. 環境「5R」推進の注意喚起実施。（内部監査実施時に廃棄物削減を周知）

4. 各所での日常生活における節水活動に取り組み、水使用量の削減。

- ・現場における路上清掃時に雨水など、再生水の使用。

5. 各所において、単管パイプなどの現場撤去材料を再生利用し、廃棄物排出抑制努力。

6. 各所における自所の環境活動を安全会議等で協力会社（35社）へ周知。

7. 環境マネジメントシステム運営管理マニュアル見直し及び環境組織体制変更。

- ・エコアクション21中間審査受審。
- ・環境内部監査実施。（対象事業所：16事業所）
- ・当社環境活動における環境経営レポート・環境レポートなどの発行。
- ・各所開催の地区安全協議会（緑十字）及び現場パトロール時において当社環境活動を協力会社へ周知。

8. 工事力調整により、協力会社の応援運用。

7. 2024年度 環境活動具体的実績（D）

（１） 環境関連法令等順守状況及び評価結果

	法規制等の名称	適用内容・順守事項	違反の有無	今年度順守状況	次年度取組み
廃棄物処理	廃棄物処理法	・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 ・委託契約書の保管 ・マニフェストB2、D、Eの返還確認（5年間保管）	無	良	継続
	資源有効利用促進法	・廃棄物の利用（リユース、リサイクル、サーマルリサイクル（※））	無	良	継続
	建設リサイクル法	・発注者への計画等説明と完了報告 ・分別解体 ・再生資源等の促進 ・再生資源の利用	無	良	継続
	家電リサイクル法	・家庭用エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機等の廃棄時の適正管理	無	良	継続
	グリーン購入法	・環境物品等の購入に努める ・環境物品等に関する情報の提供	無	良	継続
騒音振動	騒音規制法 振動規制法	・特定建設作業の実施の届出、規制の順守 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	無	良	継続
大気	オフロード法	・排出ガスの規制について（対象車両：フォークリフト）	無	良	継続
	フロム排出抑制法	・第一種特定製品の管理者点検の実施	無	良	継続
水質	水質汚濁防止法	・舗装の切断作業時に発生する排水の処理、産業廃棄物として処理（濁水・汚泥）	無	良	継続
	浄化槽法	・浄化槽の適正管理（10条：清掃（年1回）、11条：法定点検） ※小山研修所、栃木営業所、群馬営業所、茨城営業所	無	良	継続
化学物質 労働安全	労働安全衛生法	・有機溶剤、化学物質の取扱い順守（MSDSの適切な運用） ・車両系建設機械の定期的な検査の実施、記録 ・安全管理者、衛生管理者の選任、届出 ・安全衛生教育の実施、記録	無	良	継続
	消防法	・少量危険物の貯蔵、取扱管理記録（塗料など） ・消火設備の配置	無 無	— 良	— 継続
工事 作業関連	建設工事公衆災害防止 対策要綱	・付近居住者等への周知 ・埋設物の確認、土留工の管理 ・排水処理、地盤沈下等の処理 ・塵芥（じんかい）、騒音防止の措置	無	良	継続
	道路交通法	・道路において工事をする際は、道路使用許可を得る	無	良	継続
		・道路交通法の順守 ・車両の定期点検整備の実施			
地球温暖化 対策	地球温暖化対策の推進 に関する法律（温対法）	・国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出規制に努め、国、地方公共団体の施策に協力する	無	良	継続
	東京都環境確保条例	・地球温暖化対策報告書制度（東京都環境局へ地球温暖化対策報告書を提出（毎年度））	—	良	継続
各自治体条 例等	各事業所に適用される条例 等	・各事業所とも順守している	無	良	継続

- ・当社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反無し。
- ・環境に関連する苦情は無し。
- ・2005年エコアクション21認証登録以降、関係行政からの指摘、利害関係者からの訴訟等
は無し。

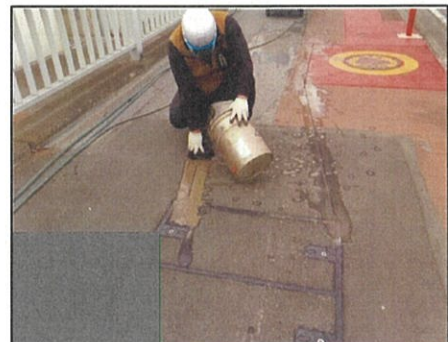
※サーマルリサイクル：廃棄物を焼却処理した時の熱を利用すること。

資材センター：法令順守状況
実施状況

現場での環境保全活動と計画的な受注活動の実施

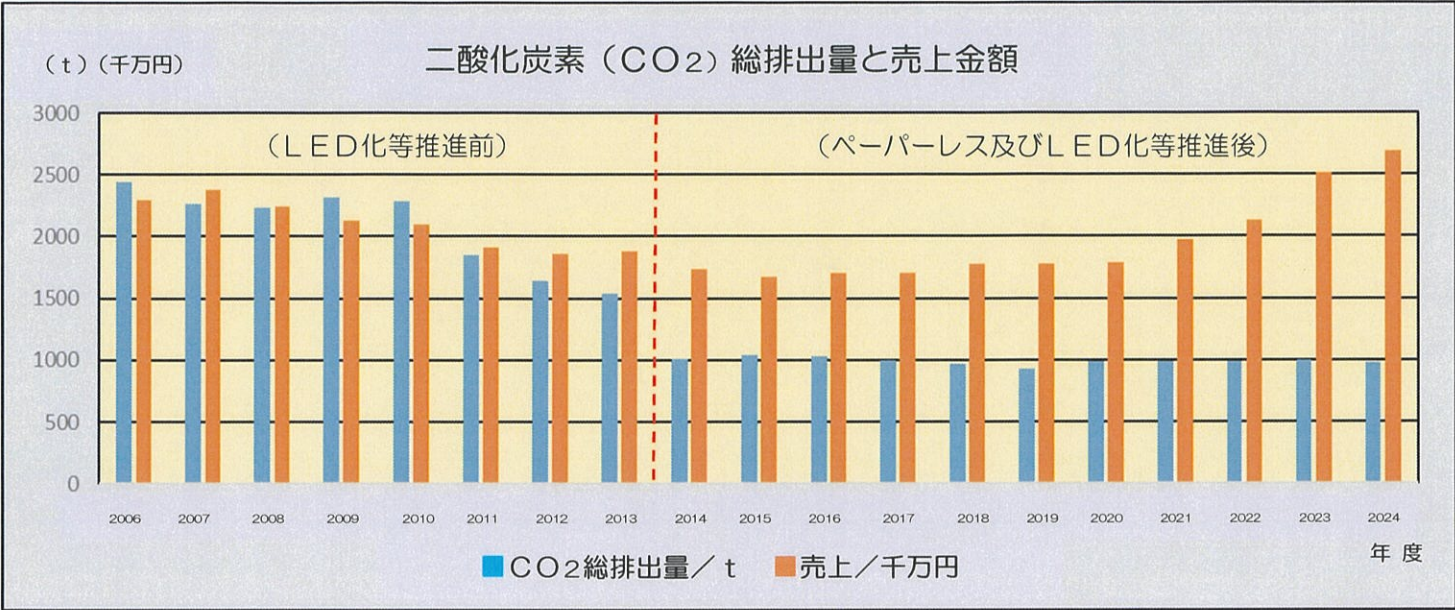


作業時発生騒音測定実施



路面カッター 濁水清掃実施

(2) 二酸化炭素(CO2)総排出量と売上金額 年度別比較



(3) 二酸化炭素(CO2)排出量と使用量及び使用金額 2023年度別比較

2024年度 総合集計対比	電気			CO2 2023年 対比(%)	都市ガス・プロパンガス				CO2 2023年 対比(%)	燃料				CO2 2023年 対比(%)	二酸化炭素換算(電気・ガス・燃料)				金額合計(円)		
	使用量 (kWh)	CO2 (kg)	金額 (円)		使用量 都市ガス (m ³)	プロパン ガス(m ³)	CO2 (kg)	金額 (円)		使用量 ガソリン (L)	使用量 軽油(L)	使用量 灯油(L)	CO2 (kg)		金額 (円)	CO2 (kg)	2023年 対比(%)	金額合計 (円)	2023年度 金額 (円)	2023年度 対比 (%)	
本社	304,478	134,275.0	8,698,233	104.7%	0.0	0.0	0.0	0	—	1801.65	1997.91	—	47035.47	3,229,824	88.4%	181,310.47	99.9%	11,928,057	11,667,281	102.2%	
資料センター	45,953	20,265.3	1,282,100	93.5%	0.0	0.0	0.0	0	—	382.63	1719.50	220.00	5392.79	296,243	101.0%	25,658.09	95.0%	1,578,343	1,716,676	91.9%	
研修所	44,761	19,739.6	1,801,644	57.6%	0.0	563.5	1,104.5	419,655	46.1%	249.71	93.06	—	823.14	52,488	91.2%	21,667.24	57.7%	2,273,787	4,185,403	54.3%	
寮関係	0	0.0	0	—	0.0	0.0	0.0	0	—	0.00	0.00	—	0.00	0	—	0.00	—	0	0	—	
本社計	395,192	174,279.8	11,781,977	94.6%	0.0	563.5	1,104.5	419,655	46.1%	18649.99	3810.47	220.00	53251.40	3,578,555	89.5%	228,635.80	92.9%	15,780,187	17,569,360	89.8%	
東京支店	32,387	14,282.7	927,055	107.7%	0.0	0.0	0.0	0	—	1182.68	0.00	—	2743.82	140,739	100.1%	17,026.52	106.4%	1,067,794	1,038,892	102.8%	
南部支社	158,743	70,005.7	4,877,917	97.8%	0.0	0.0	0.0	0	—	15209.70	4770.13	—	47784.24	2,286,967	101.3%	117,789.94	99.3%	7,164,884	7,324,820	97.8%	
西部支社	94,811	41,811.7	2,568,496	96.0%	825.0	0.0	1,617.0	150,457	109.0%	8690.00	1447.00	—	23951.94	1,178,810	59.2%	67,380.64	78.9%	3,897,763	6,313,228	61.7%	
東部支社	53,150	23,439.2	2,063,374	109.2%	0.0	294.2	576.6	139,340	112.3%	10691.52	4549.05	—	36722.84	1,727,196	106.6%	60,738.64	107.6%	3,929,910	3,484,700	112.8%	
東京支店計	339,091	149,539.1	10,436,842	99.9%	825.0	294.2	2,193.6	289,797	109.8%	35773.90	10766.18	0.00	111202.84	5,333,712	89.1%	262,935.74	95.1%	16,060,351	18,161,650	88.4%	
南関東支店・横浜支社	66,652	29,393.5	1,985,986	98.6%	48.0	0.0	94.1	16,398	39.4%	12651.27	2727.67	—	36497.44	1,814,043	118.2%	65,985.04	108.3%	3,816,427	3,548,910	107.5%	
御殿場営業所	17,324	7,639.5	818,577	94.9%	0.0	64.8	127.0	90,917	85.1%	6799.68	6420.29	—	32596.42	1,457,144	77.0%	40,362.92	79.9%	2,366,638	2,749,868	86.1%	
大和営業所	44,048	19,425.2	1,748,422	103.6%	0.0	0.0	0.0	0	—	8241.35	2100.33	—	24622.80	1,192,872	92.2%	44,048.00	96.9%	2,941,294	2,850,447	103.2%	
多摩支社	56,906	25,095.5	2,009,875	119.9%	0.0	180.7	354.2	182,077	103.3%	9461.65	2178.10	—	27657.70	1,343,746	102.7%	53,107.40	110.1%	3,535,698	3,185,550	111.0%	
山梨営業所	20,577	9,074.5	930,184	135.3%	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!	5088.38	3317.69	—	20497.39	1,379,945	105.2%	29,571.89	112.9%	2,310,129	1,888,308	122.3%	
南関東支店計	205,507	90,628.6	7,493,926	107.5%	48.0	245.5	575.3	289,392	78.7%	42242.33	16744.08	0.00	141871.75	7,187,750	97.0%	233,075.25	100.8%	14,970,206	14,223,083	105.3%	
北関東支店・埼玉支社	56,769	25,035.1	1,675,927	96.2%	0.0	58.5	114.7	40,571	86.3%	12125.08	4599.23	—	40180.17	1,902,808	104.2%	65,329.97	100.9%	3,619,306	3,628,653	99.7%	
栃木営業所	49,362	21,768.6	1,644,553	102.0%	0.0	0.0	0.0	0	—	7332.66	2542.49	—	23673.10	1,126,836	108.6%	45,441.70	105.3%	2,771,389	2,886,513	96.0%	
群馬営業所	21,727	9,581.6	989,588	94.2%	0.0	27.7	54.3	37,466	101.5%	4164.50	5208.91	—	23308.98	1,015,868	110.4%	32,944.88	105.1%	2,042,922	1,933,032	105.7%	
千葉支社	35,597	15,698.3	1,466,977	103.4%	0.0	87.0	170.5	64,240	93.5%	7366.96	10516.51	—	44644.60	1,928,319	89.9%	60,513.40	93.1%	3,459,536	3,608,796	95.9%	
茨城営業所	30,266	13,347.3	1,199,473	131.0%	0.0	43.0	84.3	25,064	86.0%	10328.28	6531.87	—	41075.11	1,882,252	117.0%	54,506.71	120.1%	3,106,789	2,552,119	121.7%	
北関東支店計	193,721	85,431.0	6,976,518	103.0%	0.0	216.2	423.8	167,341	90.8%	41317.48	29399.01	—	172881.96	7,856,083	104.0%	258,736.66	103.7%	14,999,942	14,609,113	102.7%	
全社合計	1,133,511	499,878.5	36,688,401	99.8%	873.0	1,319.4	4,297.1	1,166,185	76.8%	137,983.70	60,719.74	220.00	479,207.95	23,956,100	96.5%	983,383.45	98.0%	61,810,686	64,563,206	95.7%	
2023年度 対比金額			1,607,393		2023年度 対比金額			306,523		2023年度 対比金額			838,605		2023年度 対比金額			2,752,520			

枠内の数値及び色表記		枠外の数値及び色表記	
数値	: CO2増加又は廃棄量・使用量の増加	赤字	: 金額増加(2023年度対比)
数値	: CO2減少又は廃棄量・使用量の減少	黒数字	: 金額減少(2023年度対比)
		黒数字	: CO2増加数値(2023年度対比率(%))

まとめ

省エネ項目(電気使用量・ガス使用量・車両燃料)は、2023年度比で、それぞれのCO2排出量は削減できた。

CO2総排出量も、2023年度比で2.0%削減できた。

(4) 二酸化炭素（CO₂）排出量内訳 年度削減実績

		単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度		2024年度目標対比（％）			2023年度実績対比（％）			2025年度 単年度目標値	2023年度 中期年度目標値
							目標値	実績値	増減	前年比	増減	達成率				
温室効果ガス排出量 （二酸化炭素）	電気	CO ₂ kg	431,874	507,496	515,034	501,044	496,033	499,878	3,945	100.8%	×	-1,166	100.2%	○	494,879	418,918
	ガス		6,695	6,189	5,237	5,593	5,537	4,297	-1,240	77.6%	◎	-1,296	130.2%	◎	4,254	6,494
	燃料（車両など）		475,271	474,005	470,122	496,831	491,863	479,208	-13,341	97.4%	○	-18,309	103.7%	◎	451,621	461,013
	合計		913,839	987,691	990,393	1,003,468	993,433	983,383	-10,736	99.0%	○	-20,771	102.0%	◎	950,754	886,424

※ 前年比：◎は90%未満 ○は90～100%未満 ×は100%以上

※ 達成率：◎は101%以上 ○は100～101%未満 ×は100%未満

※ 電気のCO₂排出係数は、東京電力 2020年度 0.441kg-CO₂/kWhを使用。

【実施内容】

- ・CO₂削減目標に対し、「電気」・「ガス」・「燃料」は各事業所の使用量抑制努力と低公害車への取替えや効率のよい機器への取替えと使用抑制もあり、CO₂排出量は2.0%削減できた。目標値に対し1.0%削減となった。

【参考】

- ・CO₂削減に向け、単年度目標「前年度比 1.0%以上削減」に設定。2021年度から2023年度の中期年度目標設定し、到達目標は「2020年度比3.0%以上削減」、又、2021年度から2025年度の長期年度目標を設定し、到達目標は「2020年度比5.0%以上削減」としている。

(5) リサイクル（廃棄物・紙）・節水（水使用量） 年度削減実績

		単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度		2024年度目標対比（％）			2023年度実績対比（％）			2025年度 単年度目標値	2023年度 中期年度目標値
							目標値	実績値	増減	前年比	増減	達成率				
廃棄物等排出量	一般廃棄物	t	22	20	22	22	21	22	1	95.4	×	0	100.0	○	21	21
	汚泥	t	475	1,838	2,625	2,290	2,267	721	-1,546	314.4	◎	-1,569	317.6	◎	713	461
	コンクリート	t	4,735	12,762	6,193	6,102	6,040	7,183	1,143	84.0	×	1,081	84.9	×	7,111	4,593
	アスファルト・ コンクリート	t	1,035,234	29,389	44,531	74,913	74,163	40,742	-33,421	182.0	◎	-34,171	183.8	◎	40,334	1,004,177
化学物質使用量	有機溶剤	kg	48	28	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水使用量	上水道	m ³	9,977	10,472	10,344	10,558	10,452	7,112	-3,340	146.9	◎	-3,446	67.3	◎	7,040	9,678
紙使用量	コピー用紙	枚	1,809,000	1,729,000	1,658,200	1,577,000	1,561,230	1,561,000	-230	100.0	○	-16,000	101.0	○	1,545,390	1,754,730

※ 前年比：◎は90%未満 ○は90～100%未満 ×は100%以上

※ 達成率：◎は101%以上 ○は100～101%未満 ×は100%未満

【実施内容】

- ・汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（乾燥・脱水）後に リサイクル材（コンクリート材・骨材・ブロック等）として再生されている。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても、処理業者にて再生され循環資源として利用されている。
- ・水使用量については、通年で各社員の節水意識が定着した為、削減できた。
- ・紙使用量は、前年度より業務量増大の中、各所がペーパーレス化を推進し、前年度同等の使用量に抑えた。

【参考】

- ・排出および使用量削減に向け、単年度目標「前年度比 1.0%以上削減」に設定。2021年度から2023年度の中期年度目標設定し、到達目標は「2020年度比3.0%以上削減」、又、2021年度から2025年度の長期年度目標を設定し、到達目標は「2020年度比5.0%以上削減」としている。

8. 環境活動の取り組み結果・評価（C）

1. 環境関連法規制の順守

- ①各所に環境法規制等順守チェックリスト作成を各所に依頼し、内部監査実施時に漏れがないことを確認した。
- ②内部監査を実施し、業務に関わる法令違反等なし。

2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減

- ・業務量が増加したが、二酸化炭素排出量は、2024年度削減目標（※）に対し1.0%削減できた。排出金額については、2023年度比 約275万円削減できた。

※参照資料(11ページ掲載):二酸化炭素(CO₂)排出量内訳 年度削減実績。

3. 資機材の有効活用

- ・廃棄物排出量は、各所で排出削減に努めているが、人事異動や事業所内改修及び構内整理などにより廃棄物が発生している為、一般・産廃の合計で前年同期比7.8%増加した。

4. 節水による水使用量削減

- ・水使用量は各所とも酷暑期や感染症予防対策の中、無駄な使用抑制が定着している。前年度比で、3,446m³削減できた。

5. 資機材の有効活用と再生利用

- ・各所にて、所内改修時に排出した紙ファイルの再使用など、廃棄物削減抑制に努めた。

6. 関係会社等と協働し、現場での環境保全活動の推進

- ・汚泥、濁水処理などで、各事業所及び土木協力会社（22社）に適性処理を確認した。

7. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開

- ①「運営管理マニュアル」について、2月に改訂版を発信し、4月に環境組織体制見直しを実施した。
- ②各所地区安全協議会等で、担当者による環境活動報告やペーパーレス化を含めた社内業務効率化を社員と協力会社一丸となって推進した。
- ③感染症への罹患リスクを踏まえ、各所の地区安全協議会等は協力会社なども含めたリモート参加による会議開催を推進し、感染症の予防対策に努めた。

8. 工事力を考慮した計画的な受注活動の実施及び効率的な業務運営

- ①各部署における「課題とチャンス」を抽出し、業務運営計画に反映した。
- ②各部及び事業所においては、定期的に経営会議等を開催し、売り上げ確保に努めた。

9. 環境・安全への取り組み事例

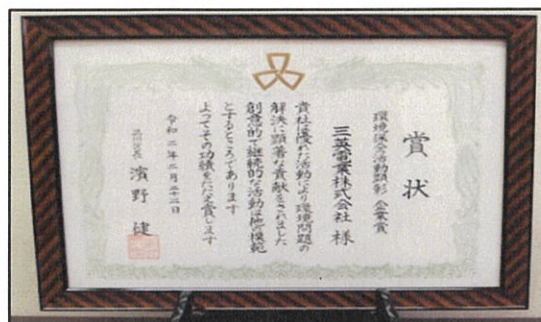
- ・エコアクション21中央事務局より、エコアクション21認証・登録を10年にわたり継続した環境活動が評価され、感謝状をいただきました。

(2015年10月)



- ・品川区より「環境保全活動顕彰」の企業賞をいただきました。

(2020年2月)



- ・2024年度は全社大による省エネ活動の推進により、電気、ガス、燃料（車両）等の使用量（CO₂排出量）削減に努めています。
- ・業務車両による環境影響を下げる観点から、低排出ガス車両導入及び車両の小型化を2000年度より推進しています。
- ・廃棄物の資源化と再利用を促進しております。
- ・各所においては、緊急連絡体制を整備し業務に関わる事故、災害及び非常災害時に備え、常時対応可能としています。
- ・社員、協力会社参加による「安全衛生大会」を毎年度開催し、また工事に関わる事故、災害などの防止を目的とした「基本動作反復訓練」を年2回（夏期と冬季）実施しています。



「安全衛生大会」の開催



「基本動作反復訓練」の実施

10. 環境経営方針 2025年改定版

三英電業株式会社は、「安全・技術・調和」を社是に掲げ、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した事業活動を通じ、継続した環境負荷低減に努めます。

法令を順守し、電気・通信という公共事業の重要な役割を担う企業として、以下の環境活動方針を掲げ、全社を挙げて社会と共存共栄する企業運営に取り組みます。

環境活動方針

1. 環境に配慮した業務運営を図り、環境関連法規制や関係条例を順守します。
2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 資源の有効活用を図り、廃棄物の削減と再生利用に努めます。
4. 節水活動に取り組み、水の使用量と排水量の削減に努めます。
5. 資機材の有効活用により、業務効率の向上と環境負荷の低減に努めます。
6. 関係会社等と連携し、化学物質の使用を含む、現場での環境負荷を抑えることで、持続可能な環境保全活動を推進します。
7. 社会との共存共栄を目指し、環境保全活動に関する体制を整備するとともに、環境への取り組みに関する情報公開に努めます。
8. 経営における「課題とチャンス」を明確にし、効率的な事業運営を心掛けます。

2004年8月1日 制定

2025年2月1日 改定

三英電業株式会社

代表取締役社長

大場 雄介

11. 2025年度 全社における展開と目標（A）

1. 環境関連法規制を順守する。

- ・「環境法規制等順守チェックリスト」各所版作成状況の確認。

2. 事業活動で発生するエネルギー使用量を削減する。（前年度比1%以上）

- ・各所環境マネジメントプログラムの定期的な運用状況確認。

3. 資源の有効活用、廃棄物の削減と再生利用に努める。

- ・各所5R（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ、リペア）の再周知。

4. 節水活動に取り組み、水使用量を削減する。

- ・現場清掃などに再生水使用推進。

5. 資機材有効活用と再生利用を図る。

- ・資源の無駄を防ぐため、資機材の有効活用と再利用により購入費の抑制。

6. 関係会社等と協働し、化学物質使用など現場での環境保全活動を推進する。

- ・各所で実施される安全会議・現場パトロール時における当社環境活動の紹介。

7. 社会と共存共栄する環境保全活動に関する体制整備と環境活動の情報を公開する。

- ・内部監査を実施し、各所好事例などを反映したより良い環境マネジメントシステムの構築。また環境経営レポート公開による当社環境活動の周知及び人材の確保。

8. 経営における「課題とチャンス」を明確にし、計画的な受注活動を実施し、効率的な業務運営を図る。

- ・エリアを越えた工事力の共有による施工力の確保。

12. 代表者による活動全体の評価と改善（C、A）

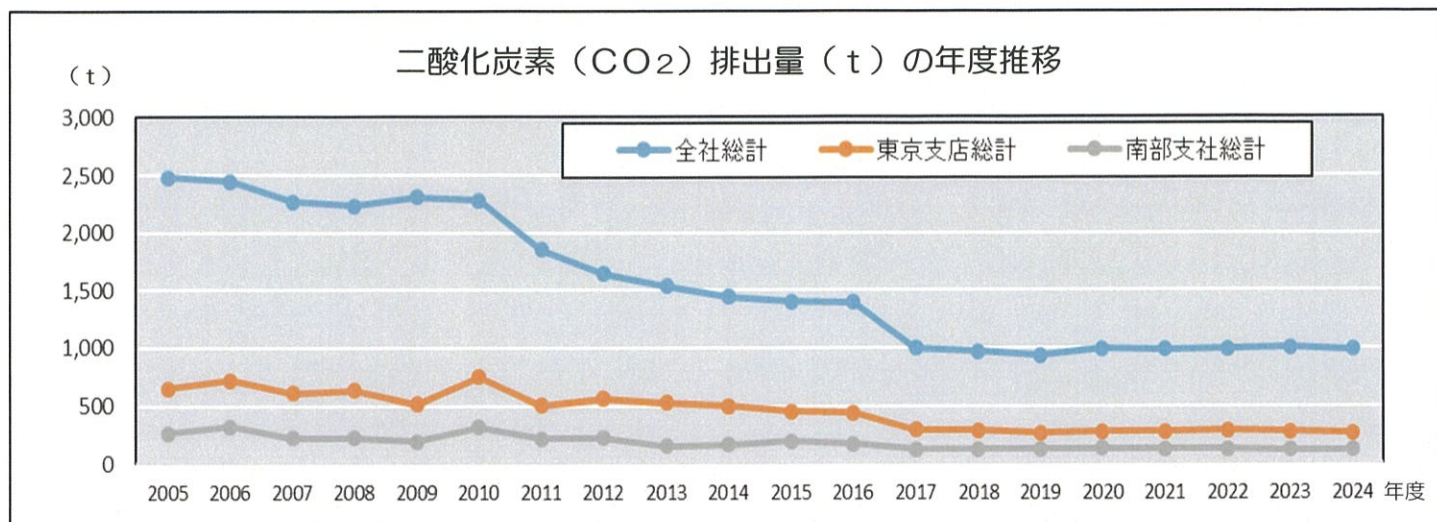
- 2024年度のCO₂総排出量は2023年度比で2.0%削減となりました。また、2024年度削減目標に対しても1.0%削減結果となりました。業務量が増加している中、災害防止および交通加害事故防止など、皆さんを取り巻く職場環境はさまざまなご苦労があることと存じますが、2025年度も引き続き年度目標であるCO₂排出量「前年度比1.0%以上削減」達成に向けて、各所環境活動の推進をお願いいたします。
- 2025年度は、当社環境活動における2021年度から2025年度の5ヵ年「長期計画」の最終年度にあたります。また「環境経営方針」を当社業務に沿った内容に改定し、社会と共存共栄する企業運営と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。
環境に配慮した事業活動を目指し、全社一丸となり、環境マネジメントシステムに則った環境活動を進めてください。
- 未だ、国内外における社会情勢等に大きな不安感がありますが、公共事業の重要な役割を担う企業として、今後も法令順守、資源の有効利用、環境保全に貢献する企業運営への協力をお願いいたします。

2025年3月

大場 雄介

13. CO₂削減状況 代表例 3事業所

(1) 東京支店 南部支社



※2024年度は、前年度実績値以下を目標として活動し、熱中症や様々な感染症対策をしたり業務量が増加したりした中、社員の環境活動意識向上により、前年度実績値6.3%削減の結果になりました。今年度も所内での省エネ活動を推進し、引き続き前年度実績数値以下を目標として活動いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（遠心分離、乾燥、脱水）後に、リサイクル材（コンクリート材、骨材、ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

東京支店 南部支社：環境活動取り組み実施状況

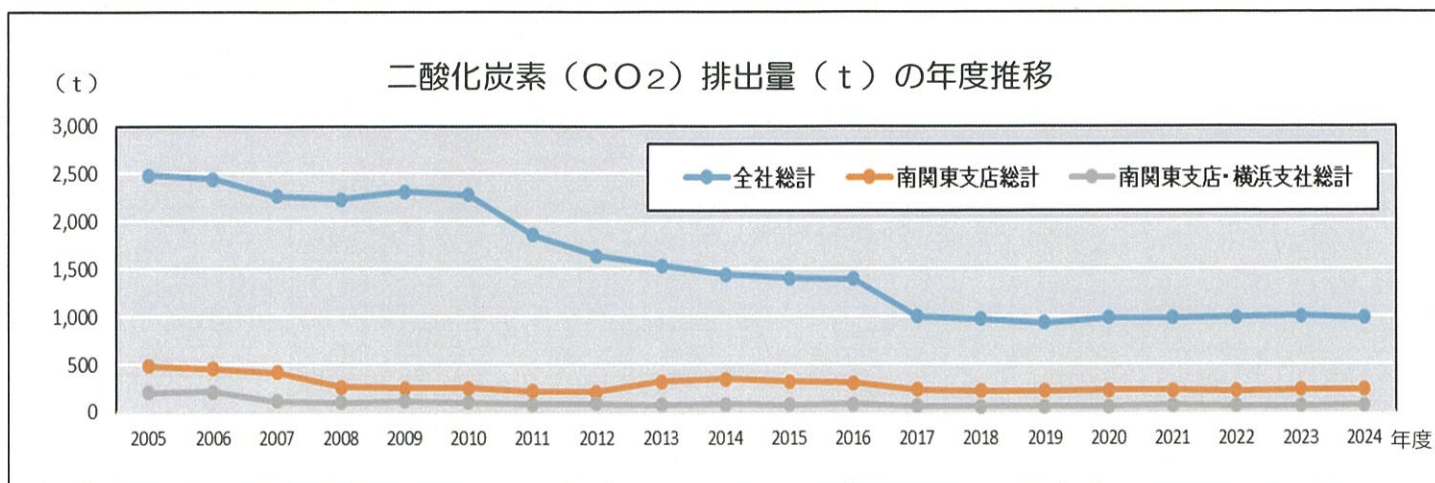


社内節電対策の実施



長期地中化工事現場周辺の地域清掃実施

(2) 南関東支店 横浜支社



※2024年度は、前年度数値以下を目標として、社員一丸となって省エネ活動を推進しましたが、熱中症や様々な感染症対策をしたり、業務量が増加したりしたこともあり、削減目標値未達成になりました。今年度も業務に支障のない範囲で、引き続き省エネ活動を推進いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（遠心分離、乾燥、脱水）後に、リサイクル材（コンクリート材、骨材、ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

南関東支店 横浜支社：環境活動取り組み実施状況

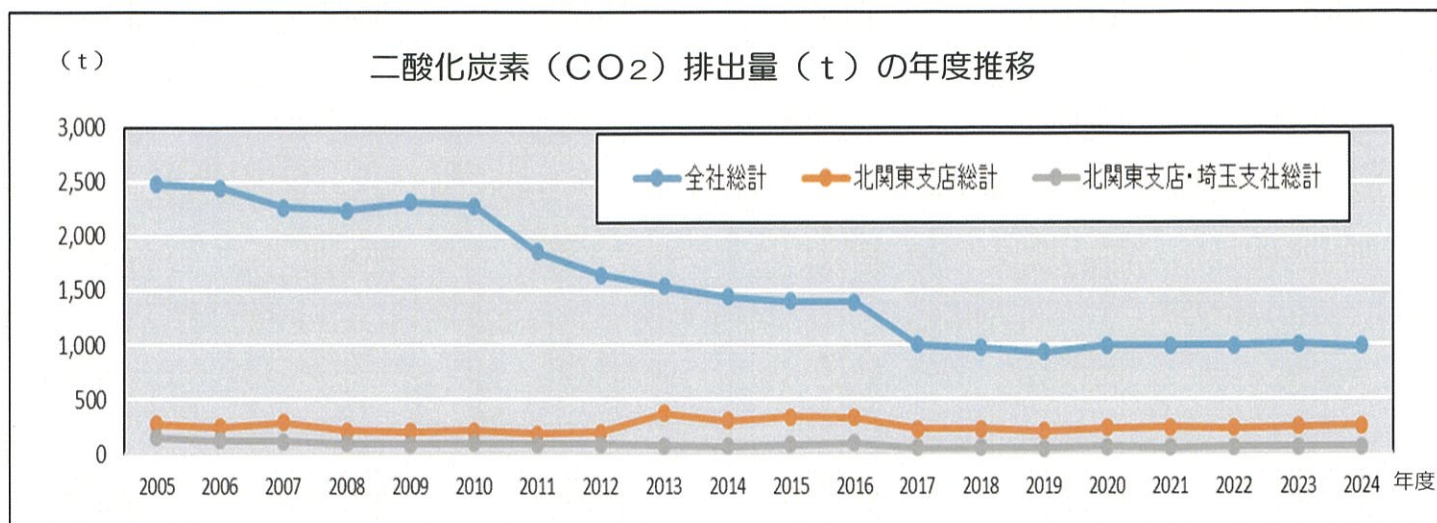


所内一般廃棄物分別の注意喚起



事業所周辺地域清掃の実施

(3) 北関東支店 埼玉支社



※2024年度は、前年度数値以下を目標として、社員一丸となって省エネ活動を推進しましたが、熱中症や様々な感染症対策をしたり、業務量が増加したりしたこともあり、削減目標値未達成になりました。今年度も業務に支障のない範囲で、引き続き省エネ活動を推進いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（遠心分離、乾燥、脱水）後に、リサイクル材（コンクリート材、骨材、ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

北関東支店 埼玉支社：環境活動取り組み実施状況



所内環境掲示板の設置



所内 環境経営レポートの設置

(4) 本社・事業所の環境活動への取り組み

① 各所活動報告・新入社員への環境教育



部署環境管理責任者会議の Web 開催



2024年度 新入社員環境教育

② 地域清掃の実施



西部支社

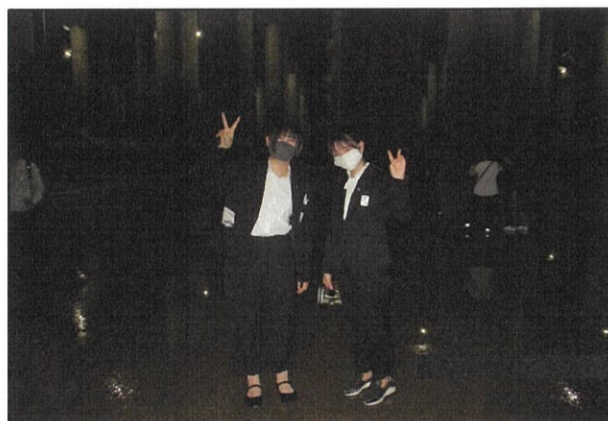


群馬営業所

③ 社員の環境意識向上



国土交通省 首都圏外郭放水路施設見学会の参加



(5) その他

① 安全への取り組み：基本動作反復訓練



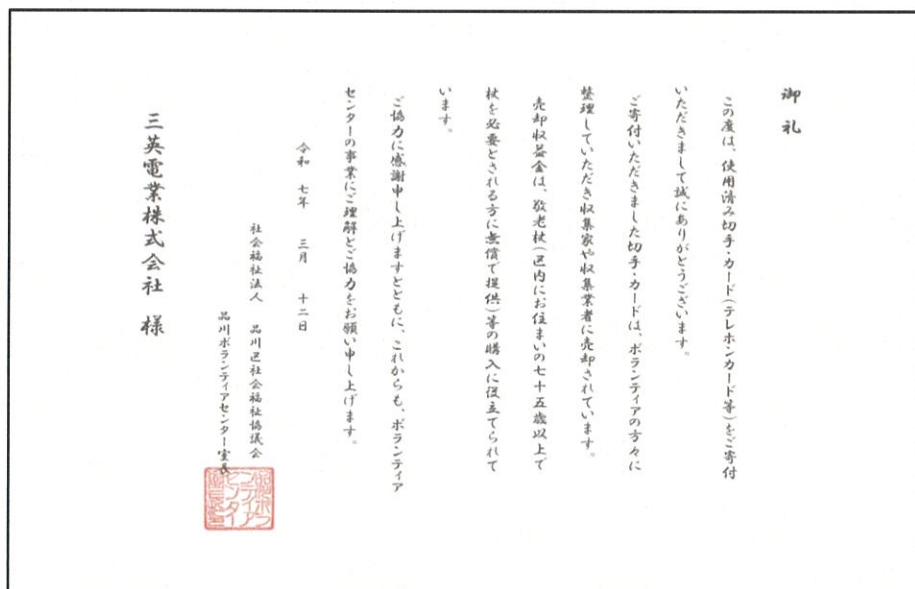
夏期 基本動作反復訓練の
実施
(電工班による昇柱訓練
状況)



冬期 基本動作反復訓練の実施
(電工班による昇柱訓練と土木班による土止め支保工訓練状況)



② 社会と共存共栄する企業運営：CSR活動報告



品川区（御礼）：使用済み切手などの寄付活動

(6) SDGs活動の取り組み

SDGsとは

SDGs(エスディージーズ：持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。社会で抱える問題を解決し、世界全体で2030年を達成を目指して明るい未来を作るため、17の目標と169のターゲットから構成されています。

17の目標

1 貧困をなくそう	目標1【貧困】 あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	2 飢餓をゼロに	目標2【飢餓】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、実現可能な農業を推進する
3 すべての人に健康と福祉を	目標3【健康】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	4 質の高い教育をみんなに	目標4【教育】 すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を実現しよう	目標5【ジェンダー】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	6 安全な水とトイレを世界中に	目標6【水・衛生】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	目標7【エネルギー】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	8 働きがいも経済成長も	目標8【経済成長と雇用】 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を推進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	目標9【インフラ、産業化、イノベーション】 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の推進及びイノベーションの推進を図る	10 人や国の不平等をなくそう	目標10【不平等】 国内及び各国家間の不平等を是正する
11 住み続けられるまちづくりを	目標11【持続可能な都市】 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で「持続可能な都市及び人間居住を実現する」	12 つくる責任 つかう責任	目標12【持続可能な消費と生産】 持続可能な消費生産形態を確保する
13 気候変動に具体的な対策を	目標13【気候変動】 包括的で安全かつ強靱(レジリエント)で「持続可能な都市及び人間居住を実現する」	14 海の豊かさを守ろう	目標14【海洋資源】 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15 陸の豊かさも守ろう	目標15【陸上資源】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	16 平和と公正をすべての人に	目標16【平和】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17 パートナリシップで目標を達成しよう	目標17【実施手段】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS	

※目標(赤字)は環境に関係する内容です

三英電業株式会社 SDGs活動(取り組み)

環境

CO₂削減で地球温暖化対策を行います
定期的な数値目標管理により、事業活動で発生するCO₂の削減に努め、地球温暖化を少しでも食い止めたいと思います

【具体的な取り組み】

- 電気・ガスなど、事業所エネルギーの省力化
- 業務車両の効率的な稼働による車両燃料の抑制
- 事業において、発生する水使用の節水

【関連するSDGs】



3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動を通じて循環型社会を目指します
資機材の有効活用と再生利用の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し続けます 3Rの取り組みは、枯渇する資源の使用量削減につながり、CO₂削減などの環境問題の解決に貢献できます

【具体的な取り組み】

- 廃棄物分別化による廃棄量削減
- 不用品のリサイクル
- 修理に伴う廃棄物のリサイクル
- 事業において、発生するコンクリート・アスファルト・コンクリート廃材の再生利用

【関連するSDGs】



社会

関係会社等と協働し、現場での環境を配慮した環境保全活動を推進します

【具体的な取り組み】

- 当社環境活動の周知
- 安全会議等による情報の共有化
- 教育制度の充実

【関連するSDGs】



ガバナンス

企業理念に基づいた公正かつ健全な企業経営を通じて、全てのステークホルダーに価値を提供し続けます
ステークホルダーに信頼され、選ばれる企業集団の確立を目指し、公正で透明性の高い健全な経営を継続し続けます

【具体的な取り組み】

- 環境法規制や関係条例等の順守
- 反社会的勢力への対応
- リスクマネジメント
- コンプライアンス教育
- 社内通報制度

【関連するSDGs】

